

事業概要：市民共創プラットフォーム運営事業

新規

申請者	愛知県蒲郡市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	8,250千円 (2,750千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、市民が主体的に活動し、挑戦できる「市民共創」の環境を整備することで、若年層の定着や地域経済の活性化を図るものである。市民の趣味やスキルを活かした活動を、試行・発信・事業化へとつなげることで、新たな創業や地域内での価値創造を促進する。また、地場産業や地域資源と市民のアイデアを掛け合わせることで、新商品・新サービスの創出や地域産業の高付加価値化を目指す。さらに、街なかに人の流れと交流を生み出すことで、周辺商店街への波及効果や関係人口の拡大につなげ、持続可能な地域活力の形成を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 本事業は、令和13年度末に開館予定の新施設を単なる「ハコモノ」に終わらせないため、開館前から市民の活動を可視化・加速させるための拠点「市民共創プラットフォーム」を整備・運営するものである。 民間所有の遊休資産を利活用し、かつ専門的なノウハウを持つ民間事業者に運営を委託することで、行政特有の制約に縛られない「柔軟な活動環境」と、市民のアイデアを形にする「専門的な伴走支援」を両立させた「場」を構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・プラットフォーム運営と専門家による共創支援（委託料）2,850千円 年度内の早期の市民共創プラットフォームの設立を目指す。プラットフォーム設立後は教育機関や団体を軸に拠点及び新施設整備プロジェクトの周知を行い、2年目以降の事業に備えて関係人口の拡大を図る。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①若者の純移動数（+45人） ②市民共創プラットフォーム登録者数（+120人） ③市民共創プラットフォームでのイベント参加者数（+100人） ④若者とのコラボレーションイベント開催数（+3回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年9月頃に公開予定